



2021年5月13日

各 位

会社名 株式会社 理 經
代表者名 代表取締役社長 猪坂 哲
(コード番号 8226 東証第二部)
問合せ先 執行役員役員室長 山岸行人
(TEL. 03 -3345 -2199)

中期経営計画の見直しに関するお知らせ (2020年3月期～2022年3月期)

2020年3月期から2022年3月期までの3年間を対象期間として推進してきました中期経営計画〔2019年5月20日付「理經グループ中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）について」において開示〕につき、2021年3月期の事業環境を鑑み、経営の基本方針の一部を見直すことを決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

当社グループは、中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）に基づき、2022年3月期において連結売上高125億円、営業利益2億5千万円を達成することを目標としておりましたが、下記の要因により売上高及び営業利益の目標数値は当初計画を下回る見込みとなりました。

(単位:百万円)	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	計画	実績	計画	実績	計画	目標
売上高	10,000	10,275	11,020	10,139	12,500	11,000
営業利益	60	54	123	216	250	220

本日開示致しました2021年3月期の業績については、中期経営計画に対し、主としてネットワークソリューションにおいて伝送・配信システム及び防災情報システムが予算執行の遅れ等により減収となる一方、電子部品及び機器において導電性樹脂接着剤及び防衛省向け案件が好調であったため増益となりました。

また、2022年3月期の計画については、新たな事業領域の確立や他社とのビジネス連携・資本提携・M&A等による数値を織り込んでおりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により市場環境が当初想定から変化し、事業計画の遂行が予定通り進んでいないこと、また、今後の需要動向に関しても不透明感が一層高まっていることから、当初の数値達成は難しいと判断し、中期経営計画の最終年度である2022年3月期の目標数値を上記のとおり修正することといたしました。

当社は株主への利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置付けておりますので、今後につきましては、早急に業績を改善し、長期的、安定的な配当が維持できるよう努力する所存でございます。

※上記の業績の予想につきましては、本資料の発表時現在で入手可能な情報に基づいて算定しており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上